

① 下の略年表の(1)~(5)にあてはまる語句を答えよ。

年代	おもなできごと
1588	イギリスがスペインの無敵艦隊を破る。 このころから、市民階級の力が強くなる。
1642	イギリスでa清教徒革命がおこる。(～1649)
1661	フランスのルイ14世の絶対王政。
1688	イギリスでb (1) 革命がおこる。
1762	ルソーが「社会契約論」をあらわす。
1775	アメリカでc (2) 戦争が始まる。(～1783)
1789	d (3) 革命がおこる。
1804	ナポレオンが皇帝となる。
1840	e アヘン戦争がおこる。(～1842)
1851	中国でf (4) の乱が始まる。(～1864)
1857	インドの大反乱がおこる。(～1859)
1861	アメリカでg (5) 戦争が始まる。(～1865)

① 【各 5 — 25点】

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

② つぎの宣言や法令は、①の年表中のどの革命や戦争によって発布されたものか。a～gから選び、記号で答えよ。

- (1) 人権宣言
- (2) 奴隷解放宣言
- (3) 独立宣言
- (4) 権利章典

② 【各 5 — 20点】

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

③ 産業革命に関する、つぎの文の(1)~(4)にあてはまる語句を答えよ。

産業革命は、18世紀の半ばすぎ、(1) で始まった。まず、(2) 工業の分野で織機や紡績機が次々と発明され、これらの機械を動かす動力として、ワットの改良した(3) が利用された。

その結果、工業製品が工場で大量生産されるようになると、農村にあった従来の手工業は急速におとろえた。一方農村では、地主が大農場などの経営のため中小農民から土地を奪い、困いこんだので、農民は労働者として工場や大農場で働くことになった。

こうして、工場などを所有する資本家が労働者をやとって利潤第一に経営する経済のしくみである(4) 社会が成立することになった。

③ 【各 5 — 20点】

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

④ ヨーロッパ諸国のアジア侵略とそれに対する抵抗について、つぎの問いに答えよ。

- (1) イギリスの商品市場・原料供給地とされたインドでは、1857年、大きな反乱がおこった。この反乱の中心となった、イギリス人にやとわれていたインド人兵士を何というか。
- (2) (1)の反乱を鎮圧したイギリスは、16世紀以来続いていた帝国を滅ぼし、インドを直接支配した。ここで滅ぼされたインドの帝国を何というか。
- (3) (2)の帝国を滅ぼしたのち、イギリスは植民地化を進めてきたある組織を解散させ、直接にインドを統治しはじめた。解散させられた「ある組織」とは何か。
- (4) 18世紀末から中国に進出したイギリスは、貿易収支のマイナスをなくそうとして、麻薬のアヘンを中国に売りつけた。これに反対した清朝に対して始めた戦争が、アヘン戦争である。敗れた清朝は、イギリスに香港をゆずり、上海などを開港させられた。これらのことを取り決めた条約を何というか。

④ 【各 5 — 20点】

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

⑤ つぎの各文は、どの人物に関するものか。語群ア～クから選び、記号で答えよ。

- (1) 清教徒を迫害し、議会を無視する国王を倒して、共和国をつくった指導者。
- (2) エンゲルスとともに資本主義社会を分析し、労働者階級の団結を唱えたドイツの思想家。
- (3) 「種の起源」をあらわして進化論を唱えたイギリスの自然科学者。

ア ビスマルク イ ダーウィン ウ ロベスピエール エ カント
オ クロムウェル カ ヘーゲル キ カール＝マルクス ク メンデル

⑤ 【各 5 — 15点】

(1)	
(2)	
(3)	